



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日
東

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	17,963	0.2	1,300	△10.1	1,302	△8.6	844	△29.7
2018年9月期第3四半期	17,918	6.4	1,446	△7.3	1,425	△12.9	1,201	16.9

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 439百万円(△69.1%) 2018年9月期第3四半期 1,421百万円(5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	34.31	34.04
2018年9月期第3四半期	48.59	48.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	34,100	29,521	86.2
2018年9月期	34,626	30,123	86.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 29,379百万円 2018年9月期 29,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	8.00	—	22.00	30.00
2019年9月期	—	12.00	—		
2019年9月期(予想)				20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	1.7	1,500	5.1	1,500	3.8	1,100	△9.9	44.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	26,085,000株	2018年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	1,599,296株	2018年9月期	1,361,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	24,600,184株	2018年9月期3Q	24,717,527株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

第2四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心とした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心とした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓に注力してまいりました。

この結果、連結売上高は179億6千3百万円（前年同四半期比0.2%増）となり、この内、国内取引高は169億7千9百万円、中国や米国を中心とした海外取引高は9億8千3百万円となりました。

利益面では、営業利益13億円（前年同四半期比10.1%減）、経常利益13億2百万円（前年同四半期比8.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億4千4百万円（前年同四半期比29.7%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは経営管理区分および社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より以下のとおり報告セグメントの統合、名称変更を行っております。

従来の「メディカルシステム」と「ナノイメージング」を統合し、「ライフサイエンス／マテリアルズ」に名称変更しております。さらに製品ラインの一部を「ライフサイエンス／マテリアルズ」から「物性／エネルギー」に移管しております。

また、従来の「情報通信」と「セキュリティ&ラボカンパニー」を統合し、「情報通信／情報セキュリティ」に名称変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

(情報通信／情報セキュリティ)

情報通信におきましては、第2四半期に引き続き5G（第5世代移動通信システム）に対応する試験装置を複数受注することができました。さらに、主力のキャリア向けネットワーク機器性能試験装置や、自社製品SYNESISの販売も好調で、売上・利益共に大幅に増加しています。情報セキュリティにおきましては、現在サービスビジネスについて立ち上げ中のため、引き続き経費が先行している状況です。この結果、売上高は44億1千万円（前年同四半期比17.4%増）、営業利益は2億2千3百万円（前年同四半期は3千5百万円の営業損失）となりました。

(機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、センサーの新規事業の売上が伸びましたが、自社開発中の自動運転車両向け開発支援システムや米国での新規ビジネスの先行投資により経費が増加しました。この結果、売上高は45億5千5百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は9億7千9百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

(物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、自動車向け次世代電池やパワーエレクトロニクスの評価システムの販売が引き続き堅調でした。また、電池の基礎研究分野向け自社開発システムの販売も順調に立ち上がってきています。一方、米国での新規ビジネスの立ち上げなどの先行投資のため経費が増加しました。この結果、売上高は33億2千8百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は4億1千7百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

(EMC／大型アンテナ)

EMCにおきましては、主要顧客である国内外の自動車関連の受注が継続して堅調であり受注残が大幅に増加していますが、日本・中国共に顧客都合による設置環境などの整備遅れによる大型システムの納入遅れが発生しています。この結果、売上高は21億4千8百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業損失は1千1百万円（前年同四半期は1千万円の営業利益）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機におきましては、一部の製品のコモディティ化による価格競争の激化、前期にあった大型システムの販売が無かったこと、一部の製品の納入が遅れたことにより売上が大幅に減少しました。一方で、防衛省向けの受注が好調であるため受注残が大幅に増加しています。この結果、売上高は11億4千4百万円（前年同四半期比35.5%減）、営業利益は2億8千2百万円（前年同四半期比48.0%減）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、主力の静的解析ツールやセキュリティ脆弱性検査ツールの販売は堅調に推移しましたが、延期となった案件もあり若干の売上減となりました。また、仕入コストの増加により営業利益が低下しました。この結果、売上高は10億3千万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は1億5千1百万円（前年同四半期比47.1%減）となりました。

(ライフサイエンス/マテリアルズ)

ライフサイエンス/マテリアルズにおきましては、医療機関向けの画像診断システムや医療機器メーカー向けOEM製品、電子顕微鏡などの販売が好調に推移しています。また、立ち上げ中の新しい電子顕微鏡ビジネスは第4四半期から素材開発業界を中心に受注を見込んでおります。この結果、売上高は13億4千4百万円（前年同四半期比21.1%増）、営業利益は5千7百万円（前年同四半期は2千1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億2千5百万円減少し、341億円となりました。主な増加要因は、商品及び製品の増加23億3千8百万円によるものであります。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少11億6千3百万円、受取手形及び売掛金の減少12億1千5百万円、投資有価証券の減少12億8千7百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7千5百万円増加し、45億7千9百万円となりました。主な増加要因は、流動負債のその他の増加5億5千2百万円によるものであります。一方、主な減少要因は、未払法人税等の減少2億9千1百万円、賞与引当金の減少3億7千1百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億1百万円減少し、295億2千1百万円となりました。主な減少要因は、自己株式の増加1億9千万円、その他有価証券評価差額金の減少3億6千7百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,287,203	2,123,794
受取手形及び売掛金	5,127,980	3,912,651
有価証券	3,589,696	4,119,306
商品及び製品	1,130,129	3,468,593
その他	443,678	911,472
貸倒引当金	△500	△400
流動資産合計	13,578,187	14,535,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,213,507	2,162,297
車両運搬具(純額)	10,792	11,582
工具、器具及び備品(純額)	717,334	798,464
土地	5,607,940	5,607,940
有形固定資産合計	8,549,576	8,580,286
無形固定資産		
のれん	161,934	137,949
ソフトウェア	1,078,396	959,575
ソフトウェア仮勘定	161,916	121,774
その他	15,527	15,317
無形固定資産合計	1,417,775	1,234,616
投資その他の資産		
投資有価証券	8,757,822	7,470,503
退職給付に係る資産	509,665	531,720
繰延税金資産	354,830	460,902
長期預金	700,000	700,000
その他	878,498	704,658
貸倒引当金	△119,723	△117,181
投資その他の資産合計	11,081,093	9,750,603
固定資産合計	21,048,444	19,565,506
資産合計	34,626,632	34,100,925
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,330,462	1,522,550
未払法人税等	415,028	123,583
賞与引当金	671,590	300,000
役員賞与引当金	70,000	54,000
その他	1,315,871	1,868,696
流動負債合計	3,802,953	3,868,830
固定負債		
退職給付に係る負債	618,297	627,176
その他	82,308	83,350
固定負債合計	700,606	710,526
負債合計	4,503,559	4,579,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	21,823,583	21,817,586
自己株式	△1,532,438	△1,722,872
株主資本合計	29,052,644	28,856,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	971,836	603,876
繰延ヘッジ損益	13,219	△19,693
為替換算調整勘定	△50,275	△59,435
退職給付に係る調整累計額	△6,783	△1,695
その他の包括利益累計額合計	927,997	523,051
新株予約権	142,430	142,301
純資産合計	30,123,073	29,521,567
負債純資産合計	34,626,632	34,100,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	17,918,492	17,963,020
売上原価	9,800,536	9,933,981
売上総利益	8,117,956	8,029,038
販売費及び一般管理費	6,670,969	6,728,643
営業利益	1,446,986	1,300,395
営業外収益		
受取利息	17,797	39,998
受取配当金	50,724	47,249
有価証券売却益	474	2,450
為替差益	24,043	—
その他	25,698	42,251
営業外収益合計	118,737	131,950
営業外費用		
支払利息	4,876	2,369
有価証券売却損	750	—
為替差損	—	20,585
持分法による投資損失	79,577	41,067
和解金	—	65,661
貸倒引当金繰入額	31,500	—
雑損失	23,278	—
その他	448	585
営業外費用合計	140,430	130,268
経常利益	1,425,293	1,302,076
特別利益		
固定資産売却益	13,948	16,594
投資有価証券売却益	370,961	57,954
特別利益合計	384,910	74,549
特別損失		
固定資産処分損	6,027	1,887
特別損失合計	6,027	1,887
税金等調整前四半期純利益	1,804,177	1,374,738
法人税、住民税及び事業税	581,000	462,000
法人税等調整額	22,159	68,603
法人税等合計	603,159	530,603
四半期純利益	1,201,017	844,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,201,017	844,134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,201,017	844,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236,058	△367,960
繰延ヘッジ損益	5,086	△32,913
為替換算調整勘定	△7,678	△9,945
退職給付に係る調整額	△37,370	5,087
持分法適用会社に対する持分相当額	24,629	786
その他の包括利益合計	220,726	△404,945
四半期包括利益	1,421,743	439,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,421,743	439,188
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、2019年2月4日開催の取締役会の決議に基づき、2019年2月5日に当社普通株式273,700株を総額230,729千円にて取得しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	3,758,407	4,472,013	3,155,889	2,518,670	1,775,254
セグメント利益 又は損失(△)	△35,048	1,042,034	501,267	10,198	542,768

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	1,128,022	1,110,234	17,918,492
セグメント利益 又は損失(△)	285,760	△21,011	2,325,970

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,325,970
全社費用(注)	△878,983
四半期連結損益計算書の営業利益	1,446,986

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	4,410,494	4,555,987	3,328,193	2,148,442	1,144,356
セグメント利益 又は損失(△)	223,314	979,993	417,008	△11,737	282,174

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	1,030,630	1,344,915	17,963,020
セグメント利益 又は損失(△)	151,054	57,851	2,099,659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,099,659
全社費用（注）	△799,263
四半期連結損益計算書の営業利益	1,300,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは経営管理区分および社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より以下のとおり報告セグメントの統合、名称変更を行っております。

従来の「メディカルシステム」と「ナノイメージング」を統合し、「ライフサイエンス／マテリアルズ」に名称変更しております。さらに製品ラインの一部を「ライフサイエンス／マテリアルズ」から「物性／エネルギー」に移管しております。

また、従来の「情報通信」と「セキュリティ&ラボカンパニー」を統合し、「情報通信／情報セキュリティ」に名称変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。